



市民公開講座

慢性腎臓病 を知ろう

世界腎臓病デー

腎臓とは主に体のなかに生じた老廃物を尿として排泄をしたり、体内の水分やミネラルなどの調整を行っている臓器です。慢性腎臓病は腎臓の働きが健康な人の6割以下に低下した状態やたんぱく尿などの異常が3カ月以上続く場合を指し、推定される本邦での慢性腎臓病の患者数は1300万人と考えられています。

多くは自覚症状のないまま進行するため、気づいた時には人工腎臓の透析療法が必要となる末期腎不全に至る場合もあります。そのため、腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、国際腎臓学会と腎臓財団国際協会によって共同で提案され、毎年3月の第2木曜日を世界腎臓病デーと定め、各地での啓発運動が行われております。今回、世界腎臓病デーに合わせ当院においても慢性腎臓病に関する市民公開講座を行うことと致します。ぜひご参加ください！



腎臓内科 部長

服部吉成

3 / 10 2018 (土) 14:00 ~ 15:00 (開場 13:00)
会場 済生会神奈川県病院 地下1階講堂
事前申し込み不要・参加無料・当日直接会場へ